

普及活動情勢報告（令和5年1月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

冬期の栽培管理を徹底しよう！

・・・ハイブリッドスターチス現地検討会・・・



12月22日、黒潮町田野浦地区でハイブリッドスターチス現地検討会を開催し、JA 大方花き園芸部会の生産者5名、関係機関2名が参加しました。

農業改良普及課からは、冬期のかん水管理や温度管理、設置予定の環境測定機器について情報提供を行いました。生産者からは、「こかげマルチに変えたことで例年よりも穂先枯れの生理障害が少なくなった」、「冬場の抽台が遅く、収穫本数が少ない」等の意見がありました。

今後は、「冬期の収穫本数の増加」を課題として、生産技術の確立に向けて取り組んでいきます。

消費者に安全・安心な商品を届けるために！

・・・令和4年度HACCP研修会・・・



12月21日、中村合同庁舎でHACCP研修会を開催し、農産物加工に取り組む事業者19名が参加しました。

幡多福祉保健所職員を外部講師に招き、食品衛生法の改正やHACCPによる衛生管理について講義を行いました。また、農業改良普及課は、食品衛生管理について意見交換を行い、参加者からは「ネズミ、ゴキブリ等の対策について教えて欲しい」、「衛生管理を徹底するには片付け作業等のルール作りが必要だ」などの意見がありました。

今後も、保健所等の関係機関と連携しながら、食品加工に取り組む事業者に対して支援を継続していきます。

収穫体験で食育を！

・・・宿毛4Hクラブ ジャガイモ収穫体験・・・



12月21日、宿毛市二ノ宮で、宿毛4Hクラブが二ノ宮保育園児を招待して、ジャガイモ収穫体験を開催し、クラブ員10名、園児11名、関係職員7名が参加しました。

この取り組みは、食農教育の一環として、毎年、園児を招待し、ジャガイモの収穫体験を行っているものです。当日は、クラブ員が園児達に収穫方法の説明を行い、その後クラブ員とともにジャガイモを収穫しました。農業改良普及課は、保育園との日程調整や収穫体験を行うための準備や支援等を行いました。

今後も、食農教育を行う宿毛4Hクラブの活動を支援していきます。

キュウリ産地を盛り上げるために！ ・ ・ ・ 第3回黒潮町キュウリ若手勉強会 ・ ・ ・



12月16日、黒潮町のJA高知県大方支所構造改善センターで、農業改良普及課が第3回キュウリ若手勉強会を開催し、生産者8名、関係者6名が参加しました。

農業改良普及課からは、厳寒期の温湿度管理方法や、R5園芸年度実証ほ場の中間報告、退緑黄化病の注意喚起、農業版BCP等についての説明を行いました。参加者は、実証ほの途中経過や退緑黄化病の症状などに関心を持った様子でした。

今後は、勉強会の開催に加えて、生産者ほ場での現地検討会等も開催し、産地の若手生産者を支援していきます。

県外からの新たな担い手の確保を！ ・ ・ ・ 大方イチゴ作業体験会 ・ ・ ・



1月14日、新・農業人フェアで就農相談に来た就農希望者1組が来町し、黒潮町大方地区のイチゴ農家で作業体験を行いました。

就農希望者は、イチゴの収穫、パック詰め、出荷等の作業を体験し、農業改良普及課からは、研修や施設整備に関する支援制度について情報提供しました。

就農希望者からは「農家の生活や支援策などがわかり、就農意欲が高まった」と声があり、今後、移住と就農に向けて家族内で検討することになりました。

農業改良普及課は、関係機関と連携して、研修・就農に繋がるよう支援していきます。

高騰する肥料価格への対策！ ・ ・ ・ JA高知県幡多地区宿毛支所水稲栽培講習会 ・ ・ ・



12月26日、幡多地区宿毛支所で、JA宿毛支所水稲部会が水稲栽培講習会を開催し、水稲生産者15名、関係機関3名が参加しました。

農業改良普及課からは、飼料用米として有望な品種である‘イクヒカリ’、‘とよめき’、‘たちはるか’について、施肥量や栽植密度の実証試験結果等の説明を行いました。併せて、肥料価格高騰対策として、発酵鶏糞とコート肥料（窒素のみ）の施肥体系について、情報提供を行いました。生産者からは「栽植密度の差による収量は？」、「肥料代のコスト減は？」、「専用品種は？」等の質問がありました。

今後は、発酵鶏糞を活用した施肥体系を検討し、幡多地域に合った低コスト栽培が行えるよう支援していきます。